

令和7年度 保護者アンケート

1 結果

(1) 肯定的な回答「思う」「少し思う」が高い項目

| | | 肯定的(%) | |
|----|---|--------|------|
| 番号 | 項目 | 思う | 少し思う |
| 7 | 学校は、交流活動や地域の行事に参加するなど、地域と連携して教育活動を行っている | 83 | 17 |
| 13 | お子様は、友達と仲よく遊んでいる | 83 | 17 |

(2) 肯定的な回答「思う」「少し思う」が低い項目

| | | | |
|----|---------------------------|----|----|
| 5 | 学校からだす文書やマチコミの時期や内容は適切である | 33 | 58 |
| 12 | お子さんは、自分から進んで勉強している | 42 | 42 |

(3) 昨年度との比較で上がった項目 「思う」の回答が19%以上、増加

| 番号 | 項目 | 比較 |
|----|---|--------------|
| 7 | 学校は、交流活動や地域の行事に参加するなど、地域と連携して教育活動を行っている | 54→83 +29 |

(4) 昨年度との比較で下がった項目 「思う」の回答が19%以上、減少

| | | |
|---|---------------------------------|--------------|
| 5 | 学校からだす文書やマチコミの時期や内容は適切である | 77→33 -44 |
| 9 | 学校は、避難訓練や登下校時、学校生活での安全面に取り組んでいる | 92→50 -42 |
| 2 | 学校は、授業や行事を公開する機会を十分に設けている | 85→58 -27 |
| 3 | 先生は、タブレットを分かりやすい授業や家庭学習に活用している | 69→50 -19 |
| 4 | お子さんのことについて、先生に気軽に相談できる | 77→58 -19 |

2 成果

項目7は、悠和館の訪問や竹林コンサート、七夕飾りやあらたののまつりなど、交流活動や地域の行事に参加した結果だと思われる。保護者の皆様に送迎等、協力いただいたことに感謝している。今後も引き続き、児童の参加への気持ちを大切にして継続していきたい。

3 改善策

(1) 安全・安心な学校

児童数の減少に伴う保護者負担を考慮し、PTAの朝の立哨当番を週に3回から2回に減らし、夏休みのプール当番を教員だけで行った。校内では、数カ所に防犯ブザーの設置、不審者の避難訓練は外から近い低学年の教室に侵入した想定に変更、体育館前の校舎の片方の扉を常に施錠するなど、全職員で危機管理意識をもち見直した。目に見えない取組も保護者に発信していきたい。

(2) 保護者への連絡

原則、行事等の連絡は2～3週間前に文書で行い、マチコミを使った連絡は、変更や急遽お知らせをする必要がある場合に使っている。今後は、学校の情報をホームページやマチコミメール等で提供して共有することで、協力を得られるようにしたり、家庭や地域・関係機関と連携を図ったりして、よりよい学校づくりを進めていきたい。

(3) 授業や行事の公開

今年度はふるさとのまつりで授業参観をやめ、夏休みの作品展の期間や時間を縮小した。一方、出島壁画再創造プロジェクトやひまわりプロジェクト活動発表会の実施、音楽会は人数制限なしで保護者に見ていただくことができた。次年度は、さらに保護者に授業や行事を見ていただけるよう工夫したい。

(4) 教職員との相談・連携

初等普通教育の基礎的なものを施すことを目的に全職員が誠心誠意、小規模校のよさである児童とじっくり関わり、よさや可能性を引き出し、個に応じた指導に取り組んでいる。保護者のPTA活動と同じように、1人当たりの教員の校務分掌や出張が多く、複式授業は2学年分の授業の準備に負担をかけている。

しかし、大切なことは全ての児童がいきいきと学校生活を送れるようにすることである。そのため児童や学校のことと心配なことがあれば気軽に相談していただきたい。さらに、コミュニケーションを心がけ、保護者が気軽に相談できる雰囲気づくりを学校全体で醸成していきたい。

再編後に児童が新しい学校にスムーズに適応できるようにするために連携していきたい。